



一隅を照らそう  
6月号

317号  
毎月28日発行



祈りよしのはな

### ヘビいちご

「これヘビが食べるんだって」とか  
「これヘビが枕にするんだって」とか  
小さい頃お友達から聞かされていて  
何となくヘビいちごが苦手でした

つい先日

新型コロナ禍で、先を見据えた日本経済や社会、そして人々の考え方がどう変わるか。つまり災いを福に転じるものは何か。こうした話題が人々の口に上るようになってきました。世界的に大きな影響を与えて今の状況は種々な検証が求められています。

昔読んだ本に、西欧人は電気を発明し、自動車や船、更には飛行機をとばし、世の中を便利にし発展させた。一方それに対して東洋人は、『合掌』を発明して相手を敬つた……。とあり、大変興味深く感じた事が今になつて想い起こします。

東南アジアへ行くと、ごく自然に挨拶に合掌されるし、こちらも先に合掌すると微笑んで合掌してくれる。とても感じが良いものです。この合掌は微妙であり、理屈ではありません。喧嘩もおさまるし、思い上がりの気持ちが下がり、静まるのです。

合掌には細かくいうと種々な種類がありますが、十本の指をきちんと揃えて合わせます。右の手が智慧、左の手が慈悲。

丁寧に合わせておじぎをするのです。家で仏壇に向かつてする

だけでなく、いつでもどこでもするのです。

相手を仏さまと思いながら……。

このことは『法華經』の「常不輕菩薩品(卷二〇)」に興味深く出てきます。「常不輕」菩薩は全く経を読まず、ただひたすら他人を礼拝するのです(但行礼拝)。そして仏教信者に向かつて、将来きっと悟りを開き、仏になると予言しつづけました。

人は彼をバカ者扱いし、侮辱し、暴力までふるわれましたが、それでも止めません。彼は臨終の時、法華經を聞き正しく悟りを開いたといいます。

そこには、四諦・八正道の道理や、仏教者としての実践德目である「六波羅密」(布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧)を詳しく順序よく説明されています。

仏の教えは法界に充满し、天地いっぱいのものです……。

### 両手の世界

詩 坂村真民



止観(坐禪)会…6月20日(土)

10:00 ~ 11:00 (要申込・500円)

6月より再開予定ですが、開催の可否は1週間前に最終決定致します。お問い合わせ下さい。

月例行事案内	
◎八 日	午後二時 薬師如来祈禱会 観音經讀誦
◎十一日	午後二時 智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
◎十八日	午後二時 觀音經讀誦法要(於・神木觀音堂)
◎二十八日	午後二時 不動明王護摩供修行

\*毎朝六時の朝参り(公開)を再開いたします

ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

ご参詣下さい  
(マスクはご着用下さい)



両手を合せる  
両手でにぎる  
両手で支える  
両手で受けける  
両手の愛  
両手の情  
両手合したら喧嘩もできまい  
両手に持つたら壊れもしま  
一切衆生を救ふ

両手に抱け

○新型コロナ禍は、世界の感染者が五〇〇万人超、死者は三十二万人以上に(22現在)。これから南米や、アフリカ大陸地域の感染拡大が、危惧されます。

○こうした時代に、『自国ファースト』を掲げる米大統領の政治姿勢と、さらに中国との摩擦は、平和への実現が心配です。

○黒川検事長の賭けマージャン事件は、ガッカリしました。辞職は当然としても、世間に与えた負のイメージは計り知れません。

○當山も四月、五月の行事や花のシーズンを閉鎖しました。非公開の人々の来ない寂しいお寺でした。様子を見ながら再開していきます。お問い合わせ下さい。

○毎年四月、五月のお不動さまの『ご巡行』は、規模を縮小し実施されました。御世話人お宿各家皆様、有難うございました。

○面白くなき世の中を面白くすごすは人の心なりけりと昔の人は詠んでいます。これから梅雨に入り蒸し暑い日がやつて来ます。お大事にお過ごし下さい。

合掌